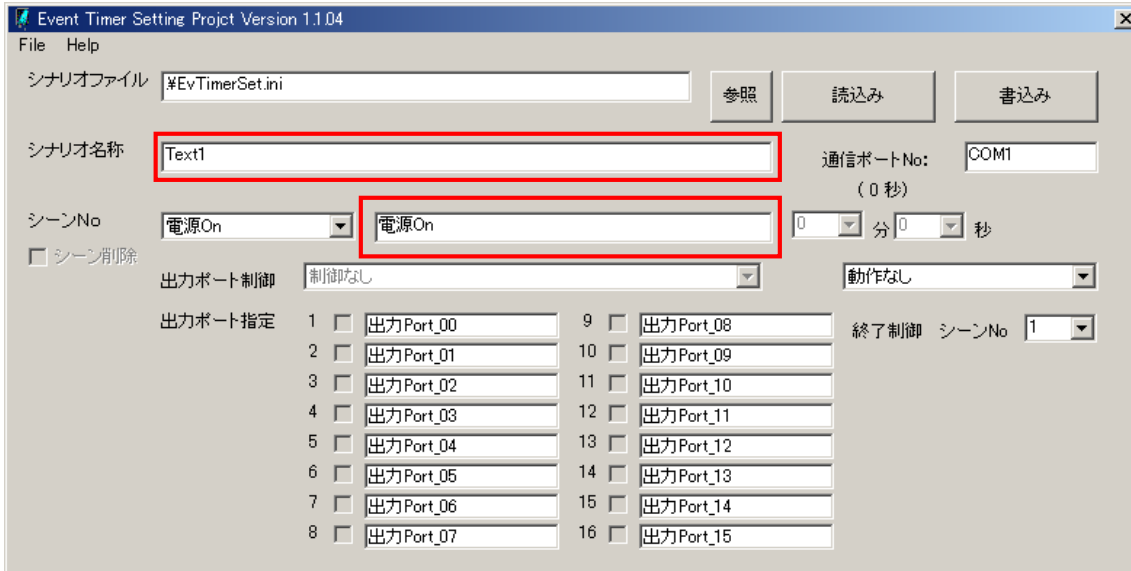


イベントタイマー操作説明書

はじめに

本ソフトウェアは弊社製品イベントタイマーの設定するためのソフトウェアです。
ご使用にあたり画面サイズは 1024 X 768 ピクセル以上の解像度を持つ
パソコンをご使用願います。

1. 初期画面



1.1 入力項目

シナリオファイル

・イベントタイマー設定内容を保存するファイル名

シナリオ名称

・イベントタイマー設定の表題
(制御には関係はありません)

通信ポート

イベントタイマーとの接続ポート名を設定します。
設定名称は COM1 ~ COM99 までとします

1.2 ボタン説明

参照ボタン

読み込み、もしくは書き込みファイル参照ダイアログで選択してください。
ファイル識別子(拡張子)は '.ini' 固定です。

読み込みボタン

シナリオファイルに設定されたフォルダ、ファイル名より設定内容を読み込みます。

書き込みボタン

設定したシナリオをファイルに書き込み、続いてイベントタイマーに書き込みます。
イベントタイマーに書き込みの確認メッセージのときに「いいえ」
とした場合ファイル書き込みのみとなります。

1.3 シーンNo

シーンNoは ドロップダウンリストより選択してください。

電源On、入力ポート1、入力ポート2、入力ポート3、入力ポート4、シーン1は 必須設定です。
(シーン名称は 制御に関係ありません。設定は自由に行ってください。)

但し、シーン数とイベント数の合計が99までとしています。

(ファイル書き込み時に超えた場合は警告します。)

各シーン設定内容は次章にて説明します。

イベントタイマー操作説明書

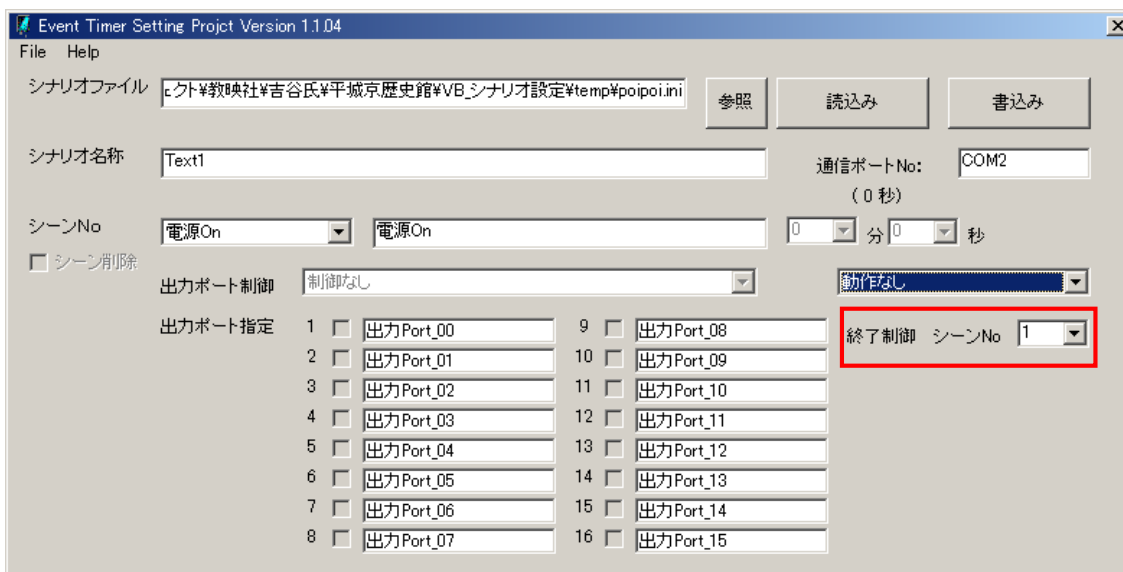
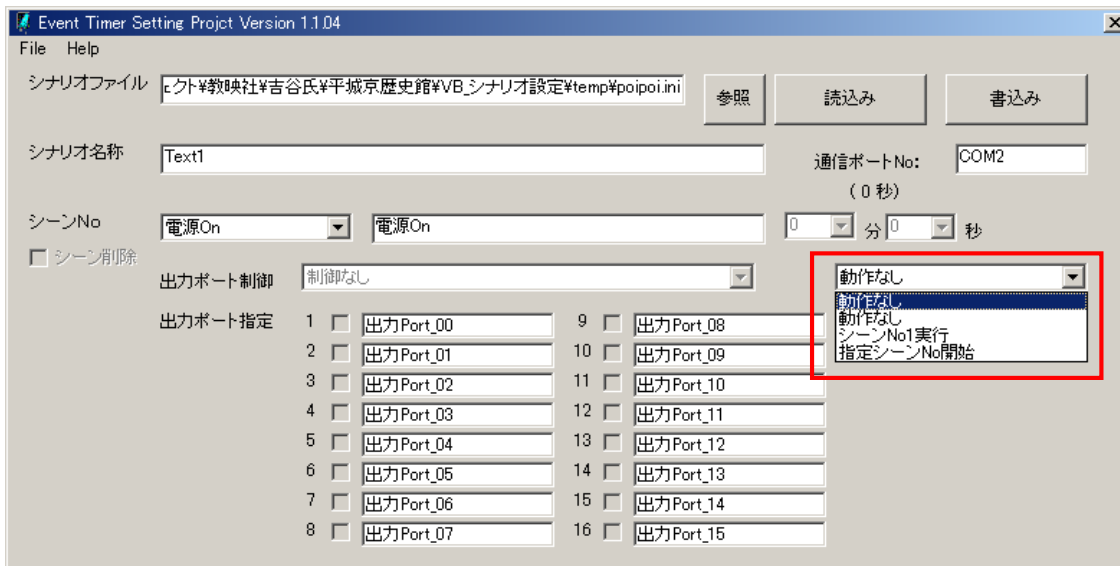
2. シーン 設定

2 - 1 電源On

イベントタイマーの電源投入時の動作を決定します。

2 - 1 電源Onの動作設定

電源Onの動作をドロップダウンリストより選択してください。



2 - 1 - 2 「シーンNo1実行」

イベントタイマーを電源On後 シーンNo1を実行します。

2 - 1 - 3 「指定シーンNo開始」

イベントタイマーを電源On後 終了制御 の 実行 シーンNoを指定することで指定シーンより実行開始します。

2 - 1 - 3 - 1 「終了制御 シーンNo」

登録されているシーンNoがドロップダウンリストに選択可能となっております。

イベントタイマー操作説明書

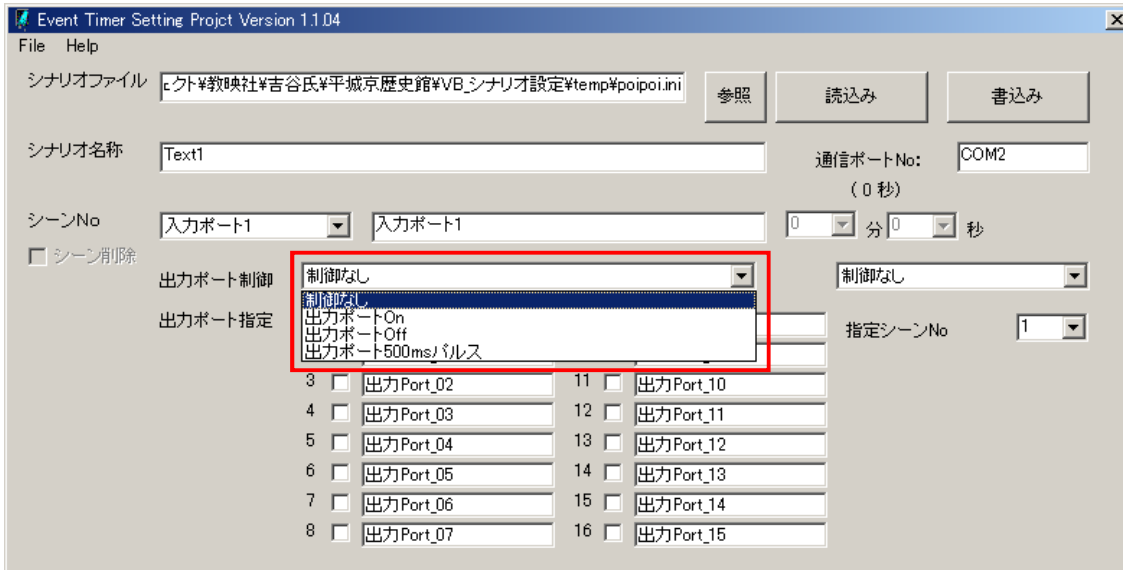
2 - 2 入力ポート 1 ~ 4 の動作設定

入力ポート On 時の動作をドロップダウンリストより選択し、各動作を決定して下さい。

2 - 2 - 1 「出力ポート制御」

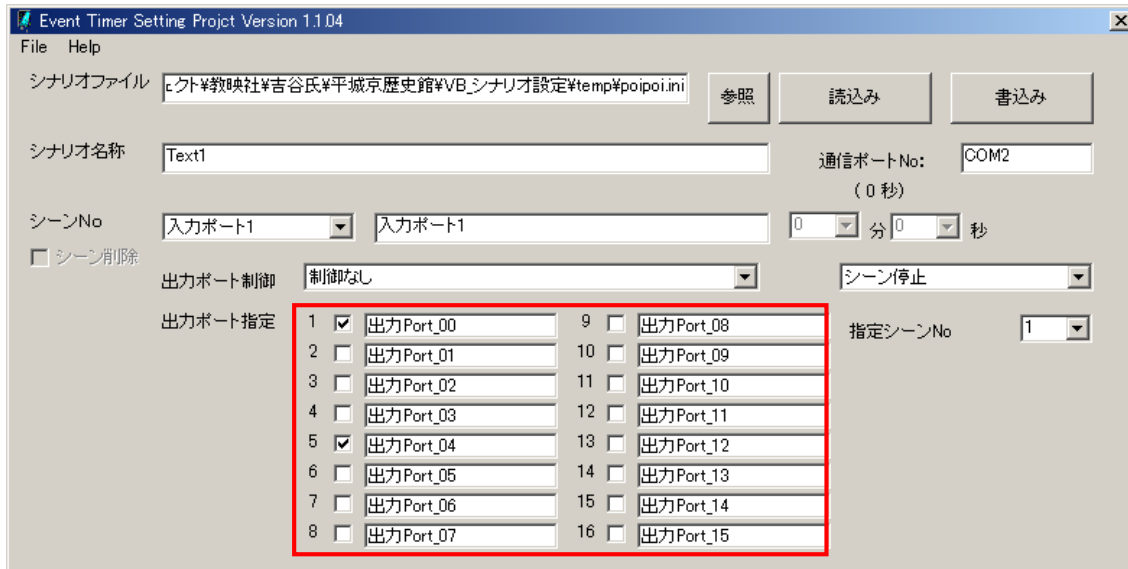
1 ~ 16 の出力ポートの状態を選択します。

指定ポートを On Off もしくは 500ms パルス出力をドロップダウンリストより選択してください。



2 - 2 - 2 「出力ポート設定」

指定ポートを On Off もしくは 500ms パルス出力を行うポートに チェックを付けてください。

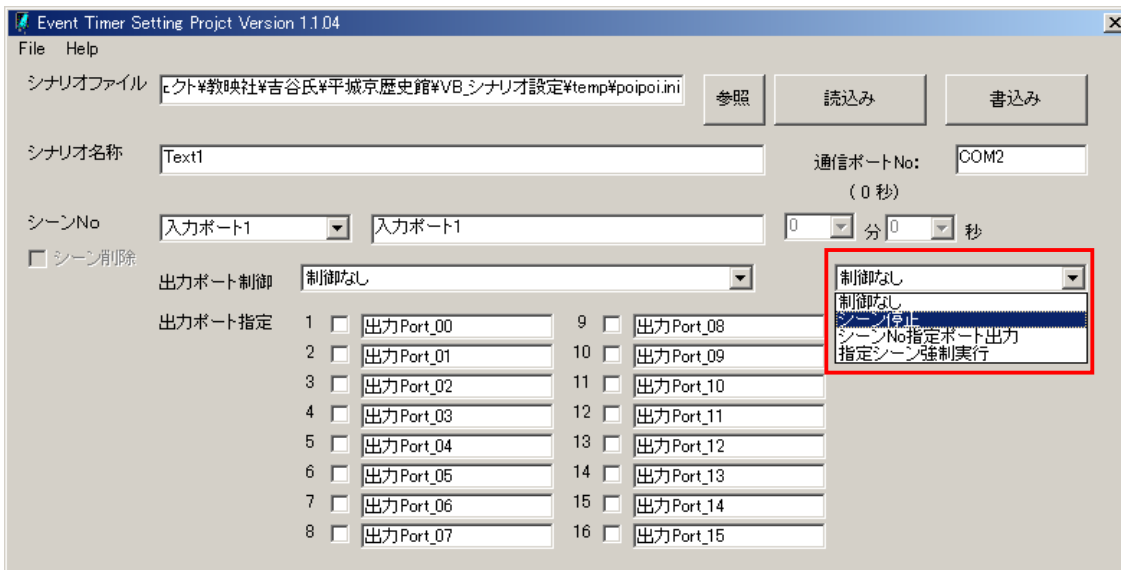


ポート名称は制御には関係ありません。
どのシーンでも名称のみは設定可能です。

イベントタイマー操作説明書

2 - 2 - 2 「シーン制御」

出力ポート設定後 シーン制御への遷移を設定します。



2 - 2 - 2 - 1 「シーン停止」

現在動作中のシーンが停止します。
次の入力ポート待ちとなります。

2 - 2 - 2 - 2 「シーンNo指定ポート出力」

指定したシーンの実行中のときに本入力ポートがOnとなった場合のみ
出力ポート制御の動作が行われます。

2 - 2 - 2 - 3 「指定シーン強制実行」

本ポートがOnとなった場合に実行中のシーンを中断し、指定シーンを実行します。

イベントタイマー操作説明書

2 - 3 シーン1 ~ 99

シーン1の設定は必須です。

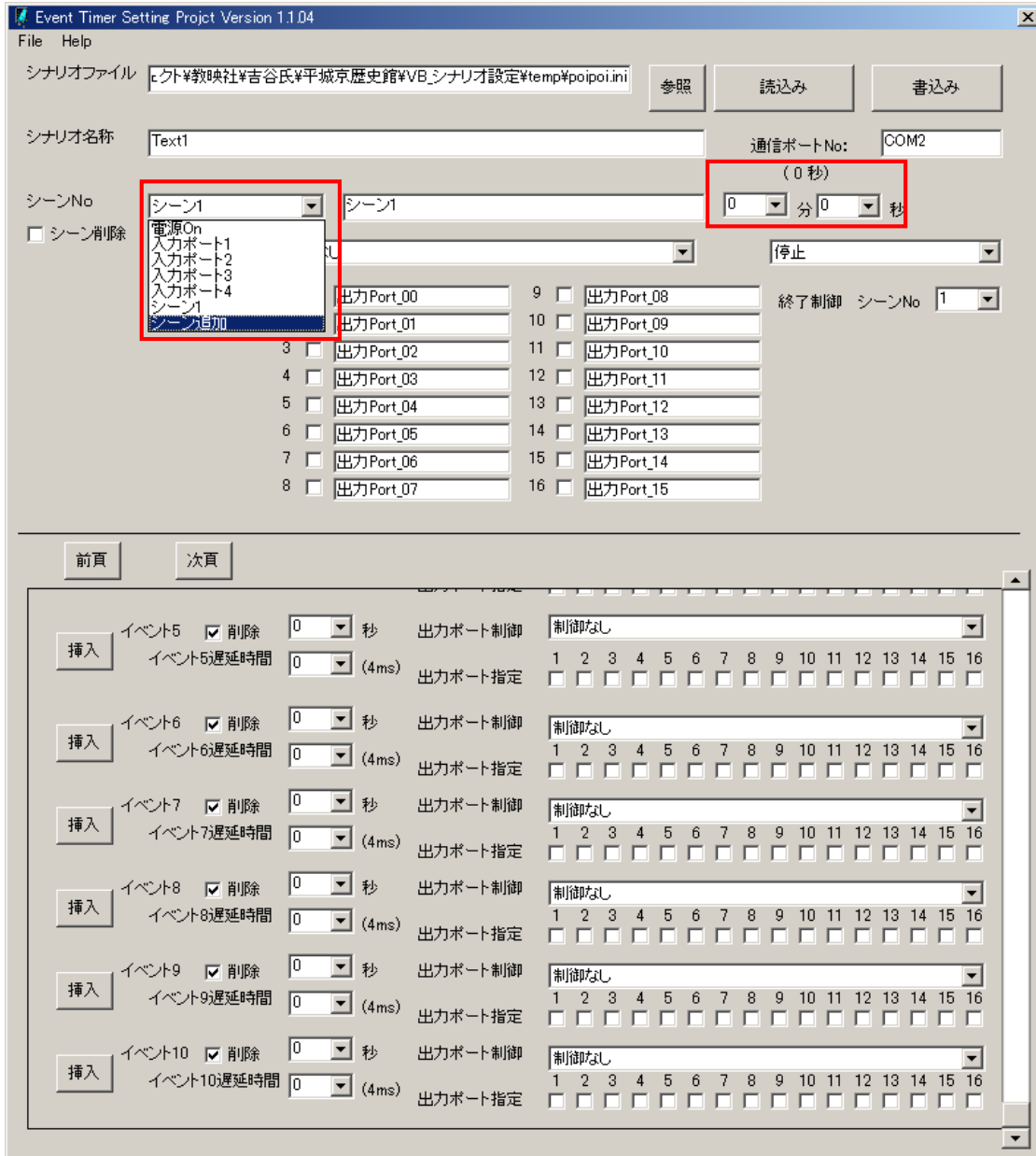
シーン2 ~ 99までは任意に設定

2 - 3 - 1 シーンNo選択

シーンNo選択で「シーン追加」とすることで新しいシーンを追加します。

シーンNoは自動で現在登録されている次の番号を設定します。

シーンを削除する場合は削除するシーンNoを選択後、シーン削除にチェックを入れることで削除されます。



2 - 3 - 2 シーン時間設定

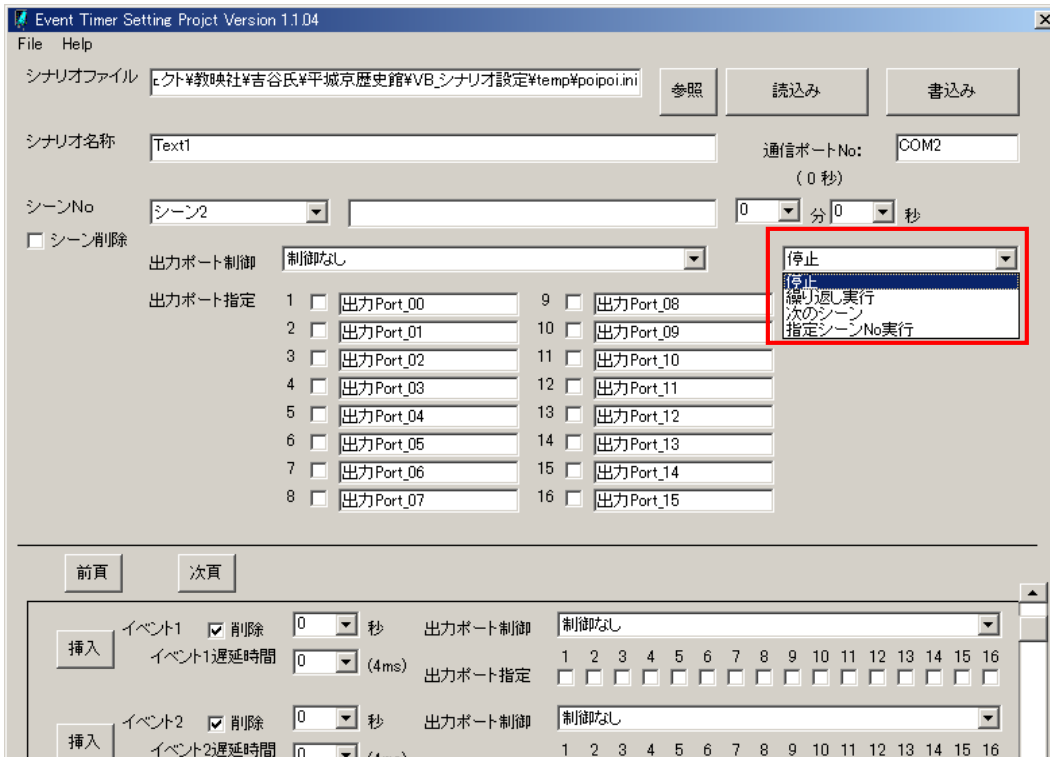
分、秒で設定することで秒に変換し、イベント時間を管理します。

後述のイベント処理ではこの時間を越えてイベントを発生させることはできない。

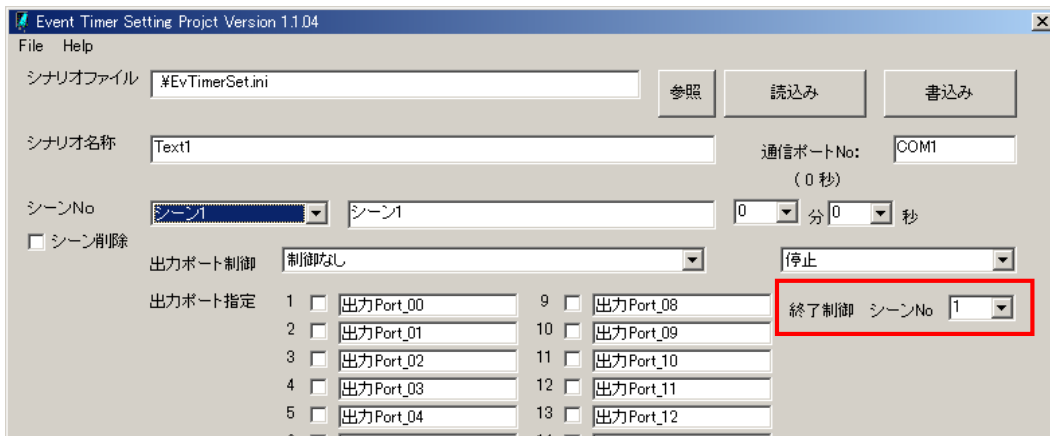
(シーン時間とイベント発生時間と同一の場合、終了が優先され、イベントは無視される)

イベントタイマー操作説明書

2 - 3 - 3 シーン終了制御 シーン終了時の動作を設定します。



- 2 - 3 - 3 - 1 停止
当該シーンを実行後、停止し、次の起動待ちとなる
- 2 - 3 - 3 - 2 繰り返し実行
当該シーンを実行後、再度同じシーンの先頭より実行を繰り返す
- 2 - 3 - 3 - 3 次のシーン
当該シーンを実行後、次のシーンへ遷移する。
- 2 - 3 - 3 - 4 指定シーンNo実行
当該シーンを実行後、終了制御にて指定したシーンNoへ遷移する
シーンNoは登録されているシーンのみリストより選択可能である。



イベントタイマー操作説明書

2 - 3 - 4 イベント設定

2 - 3 - 4 - 1 イベント発生時間

設定時間は シーン開始よりの相対時間(単位:秒)にて設定してください。

また、必ず時間は昇順で設定してください。

イベント処理ではシーン時間を越えてイベントを発生させることはできない。

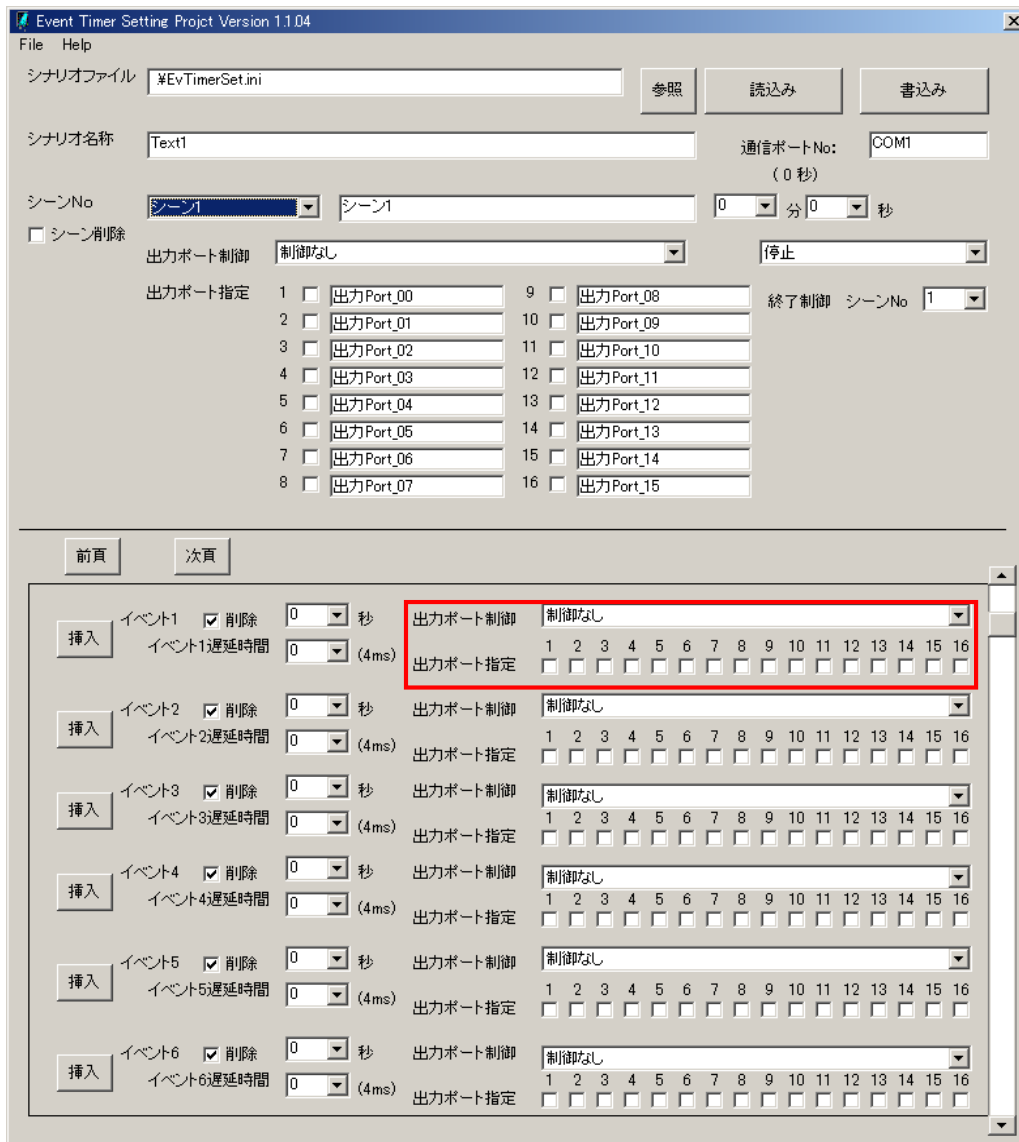
シーン時間終了とイベント発生時間と同一の場合、終了が優先され、イベントは無視されます。

時間設定後、削除のチェックボックスを外してください。

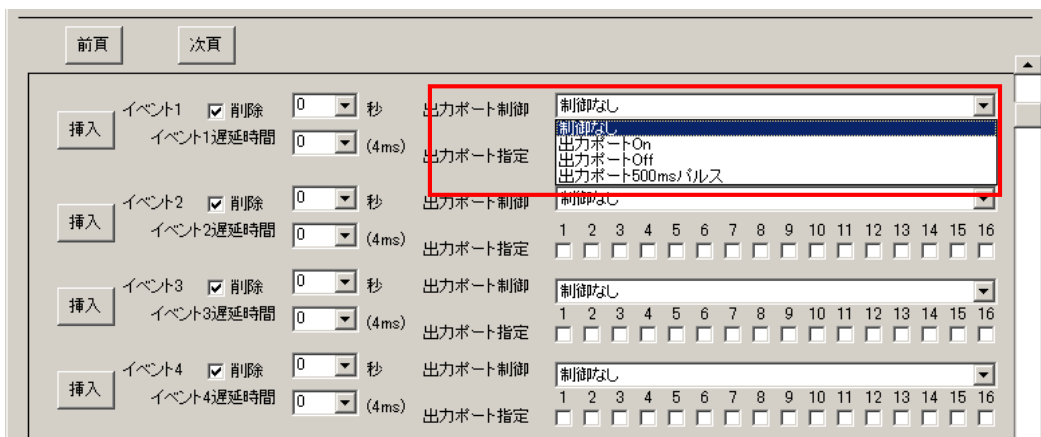
イベントタイマー操作説明書

2 - 3 - 4 - 2 出力ポート制御

出力ポート指定されたポートに対して On/Off/500msパルス出力の指定を行う



指定ポートを On Off もしくは 500ms パルス出力をドロップダウンリストより選択してください。



イベントタイマー操作説明書

2 - 3 - 4 - 3 機能ボタン・バーについて

The screenshot shows a software interface for configuring event timers. At the top, there are two buttons: '前頁' (Previous Page) and '次頁' (Next Page). Below these are six rows of event configuration, each starting with a '挿入' (Insert) button. Each row contains the following fields: 'イベント' (Event) number, a '削除' (Delete) checkbox, a numerical value in a dropdown menu, the unit '秒' (seconds), and '出力ポート制御' (Output Port Control) with a dropdown menu set to '制御なし' (No Control). Below each row is a grid for '出力ポート指定' (Output Port Designation) with 16 columns numbered 1 to 16. A vertical scroll bar is located on the right side of the interface, highlighted with a red rectangle, indicating that the content can be scrolled vertically.

1画面で10イベントまで入力可能です。イベント6以上の場合スクロールバーを操作し、表示されていないイベントを登録可能です。

また、10以上の入力が必要な場合、10まで登録後、次頁のボタンクリックで11以上、21以上のイベントが登録可能です。

また、削除のチェックは不要なイベントを登録した場合、チェックをつけることでファイル書込み時に削除されます。

イベントタイマー操作説明書

3. 付則 表示メッセージ

2 - 1 "正しいファイル名を指定して下さい。"

シナリオファイル名のファイル識別子(拡張子)が ini でない場合に警告します。

2 - 2 "整合性確認Error 終了CD: xxxx"

シナリオファイル書込み時のチェックにて 整合性が取れていない場合に警告します。
指定シナリオNoが入力ポート指定、もしくは電源On、シーン登録時に登録していない
(削除されたシーン)を指定している場合等に表示されます。

2 - 3 "通信Error 登録シナリオ数オーバー : シナリオ、イベントの登録数は合わせて 99 までです"

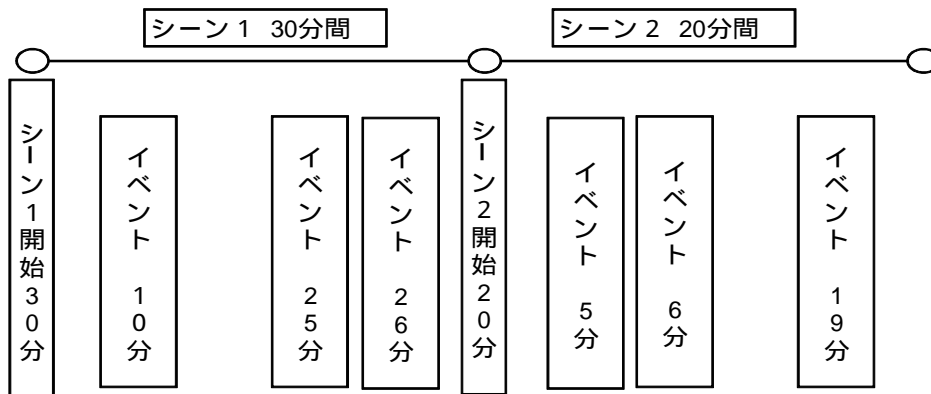
シナリオファイル書込み時のチェックにて シナリオ、イベント登録数が 99 を超えた場合に警告されます。

2 - 4 "シーン n 内でのイベント開始時間が不正です。" 時間設定項目に 数字以外の文字が設定された場合、もしくは マイナス記号が時間に設定された場合も警告されます。

2 - 5 "シーン n 内でのイベント開始時間は昇順に設定してください。 イベント開始時間が昇順に登録されていない状態のときに警告します。

2 - 6 "シーンn の設定時間を越えてもしくは同じ時間は設定できません。 イベント開始時間がシーン終了時間と同じであるか、超えて登録されたときに警告します。

4. シナリオ設定例



BGM、照明は出力ポートに割当てイベントコマンドでOn/Off制御を行う

上記の例ではシーン2コマンドで終了方法を設定する。
入力ポート上映開始ボタンを設定した場合であれば、シーン2では
次回開始のためのトリガーとして再起動方法を設定する(bit7:On)。
自動起動を設定しない場合は常に上映開始ボタンで起動可能となる。

(以下余白)